

台湾政府の危機管理担当者に対する講義（2009年1月7日、8日）

日本と台湾の間の技術交流を推進する目的で行われている(財)交流協会の高級技術者派遣事業の一環として、1月7日～9日、本学総合研究機構の小林恭一 GCOE 教授（元総務省消防庁国民保護・防災部長）が台湾に派遣された。

小林教授は、1月8日、台湾政府の要請に基づき、政府の危機管理センターにおいて、政府の危機管理責任者である黄季敏内政部消防署長（日本の消防庁長官にあたる）を初め危機管理担当者（消防、警察、軍の関係者）、台北市など地方公共団体の危機管理担当者、電力会社などライフライン関係者等約40名に対し、日本の危機管理体制と危機管理対応の考え方について5時間の講義を行った。また、講義前日に1時間半、講義終了後も1時間半、合計3時間にわたり、講義内容のほか、日本の火災対策、危険物対策など、消防・防災行政全般について質疑応答を行った。

小林教授はこれらの講義と質疑応答に合わせ、黄署長等内政部消防署の関係者に GCOE のパンフレットを用いて GCOE の趣旨、活動内容等について説明し、留学生受け入れの用意があること、火災科学の研究や教育に本学の火災実験棟の利用を歓迎すること等を表明した。これらについては、今後、両者で引き続き情報交換等を行っていくことで合意された。



小林教授、台湾内政部の黄季敏消防署長に GCOE の趣旨、内容等を説明（090107）



小林教授が日本の危機管理体制について講義した台湾政府（行政院）の危機管理センター



危機管理センターにおける小林教授の講義の様子（090108）



講義内容等について、危機管理担当者から熱心な質疑 (090108)



危機管理センターの情報収集部門における質疑応答 (090108)